

OCR の設定

- ・日本語、英語モード、自動認識モード選択
- ・速度優先/ 精度優先/ 白抜き文字認識 設定機能
- ・認識エリア指定機能
- ・認識結果をテキスト/RTF/XLS ファイルとして出力が可能
- ・A3/600dpi まで OCR 処理が可能です。

QR コード機能

- QR コードモデル2 の生成/ 認識が可能 誤り訂正レベル L/M/Q/H 指定可能
- ・スキャンシート印刷: 任意の CSV ファイル読み込み、QR コード変換し標準カバーシートや指定した TIFF 画像に貼り付け、印刷する事が可能です。

機能比較表

	HGPscanPro for imagio5.1	HGPscanPro for imagio5.1 (BASIC版)	HGPscanServ Plus5.1
価格(税込み)	260,400円	102,900円	509,250円
OCRエンジン	V6	V6	V6
2色カラー	◎	◎	◎
QRコード生成/認識	○※1	×	フル
高圧縮カラーPDF	◎	◎	◎
自動正立	◎	◎	◎
罫線補正	◎	◎	◎
ファイル分割/統合	◎	◎	◎
しおり自動設定	◎	◎	◎
暗号化	◎	◎	◎
MS-Office	×	×	◎
PDF配布制限	◎	×	◎
監視フォルダ	40	10	無制限
電子署名/タイムスタンプ	×	×	◎

※1 ファイル名/分割機能のみ
*HGPscanServPlus へのアップグレードも可能です。詳細はお問い合わせ下さい。

その他

- ・用紙サイズの混在に対応用紙サイズの混在に対応
- ・処理中の実行ログや処理結果のログファイルを詳細に表示する事が可能。
- ・ファイル名自動設定機能

- ・ Adobe. Adobe ロゴ, Acrobat ロゴ, Adobe illustrator, Adobe Photoshop, PageMaker および PostScript は、Adobe System Incorporated(アドビシステム社)の商標です。
- ・ Windows, Windows XP, Windows2000, Windows Server2003, Windows Vista は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
- ・ Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
- ・ imagio は、株式会社リコーの製品名称であり、商標です。
- ・ その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

開発・販売元
株式会社 ハイパーギア

〒330-0851
埼玉県 さいたま市 大宮区 榑引町 1-72-2 HANA ビル 1,2 階
TEL 048-654-2141
FAX 048-654-2142

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

ソフトウェア仕様

- ・対応用紙サイズ A0 まで (カラーは A3 まで) 用紙サイズ混在可能

変換元対象イメージフォーマット

- ・ TIFF モノクロ: 非圧縮、G4/G3 圧縮 (シングル/ マルチページ)
カラー: 非圧縮、PackBit 圧縮、JPEG 圧縮 (24 ビット)、LZW 圧縮、TIFF-FX (Lab) (シングル/ マルチページ)
- ・ グレースケール: 非圧縮、JPEG 圧縮 (8 ビット)
- ・ JPEG ベースライン (24 ビットカラー、8 ビットグレイ)
- ・ PDF: G4 圧縮/JPEG

変換先 PDF フォーマット

- ・ PDF1. 2/1. 3/1. 4/1. 5/1. 6/1. 7 (選択可能)
- ・ MMR (G4)/DCT (JPEG)/JPX (JP2)

動作環境

- <HGPscanPro for imagio 5.1>
- <HGPscanPro for imagio 5.1 (BASIC 版)>
- ・ハードウェア: IBM DOS/V 互換機
- ・CPU: Pentium4 2GHz 以上推奨
- * OCR として従来より高精度なエンジンを利用しているため、より高速な CPU のご利用をお奨めします。
- ・RAM: 512MB 以上推奨
- ・O/S: Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 (32bit)

価格

HGPscanPro for imagio 5.1
260,400 円 (税抜 248,000 円)
ご発注番号: HG2130-WT WindowsXP/Server2003/Vista/2008 用

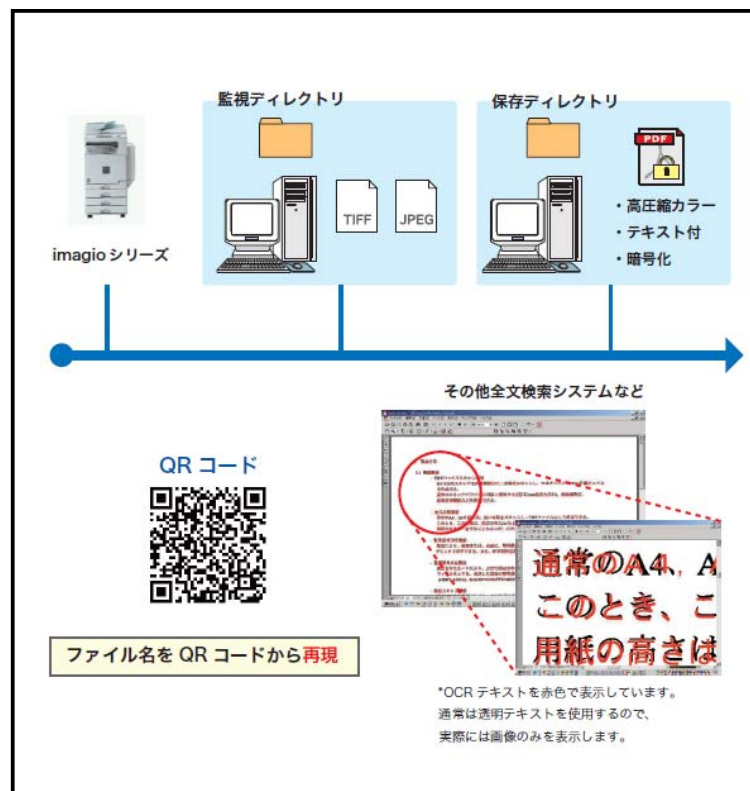
HGPscanPro for imagio 5.1 (BASIC 版)
QR コード認識/生成機能、PDF 配布制限機能がありません
102,900 円 (税抜 98,000 円)
ご発注番号: HG2131-WT WindowsXP/2000/2003/Vista/Server2008 用

BASIC 版から標準版へのアップグレード
157,500 円 (税抜 150,000 円)
ご発注番号: HG2130-UP

* 上記価格には初年度のサポート費用も含まれます。

HGPscanPro for imagio 5.1

高性能 OCR/QR コード認識機能付き PDF イメージ変換サーバ



TECHNICAL DATA 2009/01

「HGPscanPro for imagio5.1」はリコー製デジタルフルカラー複合機 imagio 等でスキャンされたデータや、既存の画像ファイルから、自動的に透明テキスト付 PDF/高圧縮カラーPDF を生成する imagio 専用ソフトウェアです。また QR コードの認識機能により、ファイル名の自動設定、任意フォルダへの自動振り分けなどが可能です。

- TrueValue シリーズとは？
- 低価格 10 万-20 万台で、稟議、資産計上不要を目指しています
- 高性能 OCR エンジンなど最高、最新のものを利用しています
- シンプル 必要とされる機能を簡単に提供します

■ imagio シリーズの専用ソフトとして PDF 変換/OCR/QR コード認識を実現

スキャンしたカラー紙文書のみでなく、JPEG 方式で圧縮された画像領域、文字領域を含むフルカラードキュメントから、JPEG 圧縮に比べても、更に最大 1/10 程度に圧縮された高圧縮カラー PDF を高速に自動生成生成します。しかも、複数の入力デバイスからネットワーク経由で利用できます。また QR コードの認識機能により、ファイル名の自動設定、任意フォルダへの自動振り分けなどが可能です。
*40 個まで (Basic は 10 個) の監視フォルダが設定できます。

■ 高性能 OCR によるテキスト埋込み機能

HGPscanPro for imagio 5.1 は、HGPscanServPlus5.1 と同じ高精度 OCR エンジンを搭載し、日英混在時の精度向上、精度/ 速度優先の切替など強化されています。また透明テキストを、元原稿と同じ文字位置に貼りつけたリ、レイヤーとすることもできます。このテキストデータは各種の全文検索システムで検索することもできます。ページ内の特定エリアを指定して OCR 処理することもできます。伝票番号や図面の図枠内のみ認識する等の設定が可能です。OCR 抽出されたテキストデータは、PDF に貼付けるほか、テキスト/RTF/XLS ファイルとして出力することもできます。

■ QR コードでファイル名を自動設定

QR コードツールにて、QR コードを画像として貼付けた電子文書は、紙にプリントした後でも、スキャンだけでファイル名を正確に復元した PDF に変換できます。QR コードが読めれば、OCR のような誤認識がありません。また、QR によるファイル名と変換日時で、簡易な版管理も行えます。

■ QR コードで任意フォルダに自動振り分けが可能

ラベルなどで QR コードが貼付けられた紙文書、QR コード付き定型文書、あるいはファイル名が QR コード化されたプリントアウトなどは、QR コード認識機能とファイル自動振り分け機能で、ファイル名を設定、任意の保存フォルダに自動格納できます。これにより、複合機のペーパーレス FAX と連携して、遠隔地からの受発注や報告書の自動登録システム等が容易に実現できます。

■ エージェントエグゼによるファイル自動登録対応

QR コードから取得した情報を、CSV 形式で出力可能。エージェントエグゼにより Ridoc Document Server に書誌事項等の自動登録が可能になります。

■ 暗号化セキュリティ機能

特別なセキュリティサーバシステムを導入する事なく、ルールごとにあらかじめ設定しておくだけで、PDF 生成時に自動処理でパスワードを割り当てることができます。これにより特定の人以外はファイルを開けないようにしたり、テキスト選択ファイル編集、印刷などを制限することができます。また RSA 40bit、128bit 加え、更に暗号化強度の高い AES 128Bit のセキュリティレベルに対応しており、Acrobat4/5/6/7/8 に対して互換性を確保しています。

注) QR コード認識機能は BASIC 版にはありません

■紙文書電子化の効率化を追求

Vista など WindowsOS の標準の検索機能から、高精度な検索機能を持った ECM まで、さまざまな文書検索の仕組みが利用できるようになりました。しかし、MS-Office などで作成された電子文書は、そのまま検索対象とできますが、紙からスキャンされた電子化文書は、検索用のテキストデータを付与しなければ、内容を検索対象にできません。また、紙文書の場合は、ファイル名を正しく付与し、あらかじめ決められたフォルダに正しく振り分けることによって、はじめて文書検索を容易

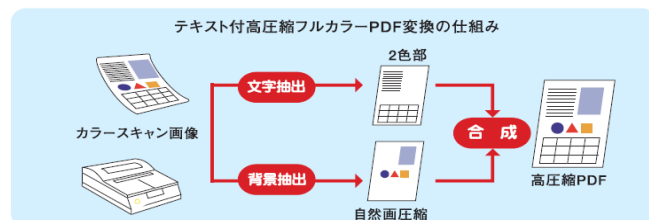
にし文書の利用価値を高めることができます。しかし、この場合、複合機などでスキャンすると、ファイル名は連番が日付時間になってしまい、業務に適した意味のあるファイル名を付与するのは、大変手間がかかります。後で探すかどうか分からないファイルに新しい情報を付与するための膨大な時間と手間をかけるのはナンセンスです。HGPscanPro シリーズは、紙文書の電子化をいかに自動化するかを非常に重視して開発しています。

▼高圧縮 PDF 変換にも標準対応

通常 1~2M バイトにもなるカラー印刷物などのスキャンデータを JPEG などの方法に比べ 1/10 程度に小さく圧縮できます。さらに写真に有利な PDF1.5 対応の JPEG2000 や構成などの赤字だけのスキャンデータをコンパクトにする MC-PDF などを用意しています。

* 高圧縮カラー PDF とは、

カラー背景部分と文字部分を特殊な画像処理により分離し、それぞれ最適な方法で圧縮し、標準の PDF 機能だけで高圧縮を実現する高品位の電子化技術です。



▼最新の高精度 OCR を標準搭載

すでにスキャン済みの大量の画像ファイルを、一括で高精度に検索可能なテキストレイヤ付 PDF に自動変換することができます。作成されたテキストレイヤ付 PDF は、文字の位置情報を持っているので、全文検索エンジンなどで検索した際に、検索対象文字を PDF 上でハイライト表示させることができ、目的の文字位置を容易に見つけることが可能です。付与されたテキストは、通常は下層のレイヤに隠れており、表示は画像 PDF なので、OCR テキストのみの表示と違い、間違っただけの情報を見るというリスクがありません。また、Acrobat を使用して、画像 PDF レイヤとテキストレイヤを並べて表示し、タイトルなどの重要な文字に誤りがあった場合に修正することもできます。



精度・速度を3段階で設定



QRコード生成ツール 2.0

QRコード生成ツールLiteを標準装備

CSV ファイルを読み込み、複数の QR コード画像ファイル (BMP 形式) を一括で指定されたスキャンシートに貼り付けて印刷、または指定した TIF ファイルに貼り付けて印刷することができます

- * 既存文書にすでに付与された QR コードの読取りも可能です。
- * 対応している文書管理システムは、添付の「機能詳細シート」をご覧ください。
- * QR コードを活用した、数多くの導入事例があります。
弊社営業部にお問い合わせください。TEL : 03-5225-7531

注) QR コード認識機能は BASIC 版にはありません

▼一次元バーコード、エリア OCR の利用も可能

過去の図面や伝票など、文書資産の多くに付与されている一次元バーコードや伝票番号などのエリア OCR による自動処理も可能です。また、QR コードとエリア OCR を組み合わせ、より高度な自動処理も可能です。さらに、スキャン処理についても複数の紙文書をまとめて一括スキャンし、QR コードや一次元バーコード、エリア OCR を使用して文書単位に自動分割する機能と組み合わせることも可能で、リネームが不要な場合には、白紙用紙やファイルサイズ指定などにより簡単に、最適な PDF ファイル単位に分割することもできます。

■ファイルベースの実用的なドキュメントセキュリティを実現

高価で運用が難しい認証サーバやセキュリティサーバの導入なしに、PDF ファイルだけで情報漏えい対策ができます。また、ハイパーギア独自のファイル配布制限機能を使えば、暗号化することなくファイルの利用制限を加えることができるので、ファイルの配布制限した状態で、

全文検索も可能な仕組みを構築することも可能です。しかも、セキュアな PDF の作成は、対象ファイルをフォルダに入れるだけの簡単操作で、クライアントソフトの操作を覚える必要がありません。

▼暗号化 PDF 自動生成機能

●パスワード機密保護機能

RSA RC4 40/128 ビット、AES 128 ビットの暗号化 PDF をサーバで自動生成することができます。設定するパスワードは監視フォルダ毎に変更することができます。クライアントソフトで、個人別に設定する必要がないので、プロジェクト等のグループ限定のパスワードを設定して、セキュアに文書を共有する等の運用が簡単にできます。今回新たに、権限パスワードをランダム設定する機能を追加したので、より安全に暗号化 PDF が運用できます。



文書の様々な利用制限の設定

●印刷制限機能

企業の情報漏えいルートとして紙の複製や持ち出しによるケースが多く報告されています。クライアントパソコンのモニターで閲覧することはできても、印刷禁止低解像度印刷・コピー不可などの設定を施した PDF を大量にバッチ処理で作成することができます。また、「印刷禁止」「複製厳禁」などのウォーターマークの設定も可能です。



印刷制限の設定

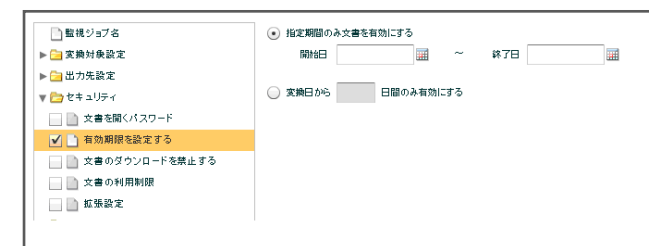
●ハイパーギア独自のファイル配布制限機能

指定した年月日まで、あるいは、変換した日から一定期間のみ閲覧可能な「有効期限付 PDF」や、指定した共有フォルダや URL からのみ閲覧可能で、クライアントにダウンロードしたり、メールに添付して送付したりすると見られなくなる「ダウンロード禁止 PDF」を、簡単に作成することができます。これらのファイル制御を、認証サーバなどへのアクセスが不要なオフライン環境でファイルベースの運用だけで実現できますので、情報システム部門などがいない中小オフィスや、通信環境が悪い遠隔地やモバイル環境での運用も可能です。

また、協力会社等への指示書や仕様書等を「有効期限付 PDF」で提供する等の運用で、利便性を損なうことなくセキュアな文書共有が実現できます。

注 1) 配布制限機能は BASIC 版にはありません。

2) より高度な DRM 暗号化ファイルの生成、運用が可能な HGPscanSECURE5 もラインナップしています。



閲覧を許可する有効期限設定



閲覧を許可する URL を指定